

おぶセッション「スラックライン＆ボッチャ体験会」

日 時 2019年3月30日(土)
受付 9:00~
開始 9:30~17:00
場 所 小布施町 浄光寺スラックラインパーク&本堂
参加費 無料
申込み 3月15日(金)×切(希望者多数の場合は抽選)
持ち物 昼食、タオル、運動のできる服装、着替え(必要な方)
問合せ 070-4413-5991(一般社団法人スラックライン推進機構事務局)



イベント内容

東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催500日前に向けた活動として、スラックライン「おぶセッション」スラックライン&ボッチャ体験会を開催します。スラックラインの聖地、小布施町浄光寺スラックラインパークを会場にスラックラインの技術向上と、愛好家の交流会として「おぶセッション」を開催します。「おぶセッション」では、スラックライン体験のほか、パラリンピック正式種目「ボッチャ」の体験会を行い、参加者にパラスポーツ「ボッチャ」の楽しさと理解を深めます。当日は、長野県伊那市在住の元パラアスリート、障がい者スポーツ地域コーディネーター加藤正さんを迎え、パラスポーツををより身近に感じる機会にします。地方からも東京2020オリンピック・パラリンピックへの機運向上に勤めたいと考えます。~東京2020開催まであと500日!~500dtg



加藤正 (昭和44年2月23日生)

長野県伊那市在住 小学2年で骨肉腫の為に左足大腿部を切断、中学時代に水泳、高校で車いすバスケットボールと出会う。1988年ソウルパラリンピック出場を皮切りに、2006年パラリンピックを最後に現役引退するまで、日本を代表するパラアスリートとして活躍。1998年長野パラリンピックではアイススレッジスピードレース500m・1500m銀メダル・1000m銅メダルを獲得。2017年4月~(公財)長野県障がい者スポーツ協会障がい者スポーツ地域コーディネーターとして活躍中

◆ボッチャとは

重度の脳性まひや四肢に障害がある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツ。ジャックボールと呼ばれる白い球に赤、青それぞれ6球ずつのボールをどれだけ近づけられるかを競う。ボールを正確に投げる技術と球の位置取りを計算する戦略性も求められる。1988年からパラリンピックの正式競技となった。障害の程度でクラス分けがあり、個人戦、団体戦がある。

